

ZiACOは「安心・安全」にご利用いただけます

～ウイルスと戦うための正しい知識・情報で対策しましょう～

ZiACOの安全性についてお答えします

そもそも発表や報道の趣旨は？

2020年5月29日に経済産業省、製品評価技術基盤機構(NITE)より発表がありました。趣旨は以下の通りです。

- 新型コロナウイルスに対して界面活性剤は有効
- 次亜塩素酸については現在も評価中
- 次亜塩素酸水の販売実態や空間噴霧の事実関係のまとめ

しかし、一部メディアの報道は、次亜塩素酸水を全て一括りにして、全ての次亜塩素酸水の商品が『危険』の対象ととれる報道をしております。あくまでも今回は誠実さを欠いた商品に対して、注意を投げかけているものです。

※NITEは発表(見解)における報道に対して、6/4付で一部事実と異なる報道があることを指摘しております。

次亜塩素酸は安全なんですか？

次亜塩素酸ナトリウムは、水道水、食品産業、医療・介護施設での菌・ウイルス対策に長年使用されてきました。

その効果をもたらす要素が【次亜塩素酸】なのです。次亜塩素酸は強い酸化作用により、菌やウイルス除去に効果的で、さらには臭いの元を分解することで、強力な消臭効果を発揮します。

そして、この次亜塩素酸は、**適切な使い方(製造・濃度設定)をすることで、安全に使用できるものです。**厚生労働省のウイルス抑制マニュアルでも、介護施設や保育所でのウイルス対策として紹介されている成分であり、様々な場所やシーンで活用されています。

ZiACOの次亜塩素酸は安全ですか？また、証明できるものはありますか？

ZiACOは、お客様に安心してご使用いただける適切な濃度、かつ、有効性を担保した製品となっております。横浜薬科大学総合健康メディカルセンターをはじめとする**各機関での試験においても、高い安全性が確認されております。**(詳細はクリクラ公式HP参照)

ZiACO(ジアコ)について

- 主成分 : 次亜塩素酸
 原料 : 次亜塩素酸ナトリウム、炭酸ガス、RO膜処理水
 (次亜塩素酸ナトリウムを炭酸ガスでpH調整しております)
 有効塩素濃度 : 50~70mg/L(製造時は70mg/L)
 液性 : 弱酸性~中性(pH5~7)
 使用期限 : 製造後約6か月(製造日は製品に記載)
 ※その他、使用方法及び使用上の注意は、製品の表示をご確認ください。

安全性に関する試験結果

試験内容	試験機関	試験概要	結果
肝機能への影響	横浜薬科大学 総合健康メディカルセンター	有効塩素濃度50~500 mg/L(通常濃度50mg/L)の次亜塩素酸水溶液(次亜塩素酸ナトリウム溶液を炭酸ガスで弱酸性~中性にした溶液)をマウスに経口投与し、血清GOT値・GPT値の測定ならびに肝切片の病態学的影響を調べた。	急性投与及び慢性投与いずれも肝臓への影響はなし。
吸入毒性試験	横浜薬科大学 総合健康メディカルセンター	上記同様に作成した溶液の噴霧粒子を90日間マウスに吸入曝露させ、自発行動並びに体重・食料量等の変動、一般血液検査項目、血生化学検査項目を調査した。	いずれの結果も長期吸入による影響はなし。
皮膚刺激性試験	株式会社ポリサーチセンター	ZiACO(ジアコ)をウサギの健康及び損傷皮膚に半閉鎖投与し、72時間経過観察した。	皮膚刺激性・刺激性なし。
眼刺激性試験	株式会社ポリサーチセンター	ZiACO(ジアコ)をウサギの眼に投与し、72時間経過観察した。	眼刺激性・刺激性なし。
半固経口投与毒性試験	株式会社ポリサーチセンター	ZiACO(ジアコ)をラットに経口投与し、14日間観察した。	剖検において、内臓の異常は認められず、腫瘍ともに顕著な体重増加が認められた。
塩素ガス濃度測定	クリタ分析センター株式会社	空調を停止した室内でミスト(噴霧器)を運転し、空気中に含まれる塩素ガス濃度を測定した。	ミスト(噴霧器)内で0.05ppm未満であることを確認した。

噴霧しても大丈夫ですか？ また、効果はあるんですか？

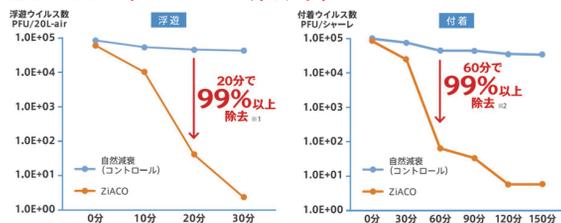
ZiACOは噴霧しても安全な濃度です。ZiACOは安全を担保できる濃度で使用しており、有効性の試験においても高い効果や安全性が認められています。

※労働安全衛生法「作業環境基準」では基準値内

- ・作業環境基準(労働安全衛生法)：塩素の管理濃度「0.5ppm」
- ・ZiACOミスト噴霧口での塩素濃度「0.05ppm以下」(試験:クリタ分析センター調べ)

※発表の「空間噴霧」対象は安全を担保できない濃度である「消毒液」が対象更に、「噴霧粒子の吸入」についても、ZiACOは長期吸入による影響はないとの試験結果がでております。

■ZiACOの早い!ウイルス除去効果



新型コロナウイルスには効果はありますか？

特定のウイルスへの有効性は薬機法の観点から表記できませんが、下記研究グループでの試験結果のまとめから、有効性について高い効果が実証されております。

(参考)

■北大研究グループ新型コロナウイルスに対する次亜塩素酸水の不活化効果を証明(以下、抜粋)

※「北大 次亜塩素酸水」で検索
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000003.000056737.html>

微酸性次亜塩素酸水(pH5.5、有効塩素濃度40ppm)は前回の強酸性次亜塩素酸水に引き続き**(つまり強酸性の次亜塩素酸水)、新型コロナウイルスに対する強力な不活化効果があることが実証された。**微酸性(pH5.5)の次亜塩素酸水が新型コロナウイルスに対して有効と判断されたことの意義は非常に大きい。安全な消毒剤としての次亜塩素酸水の有効活用は新型コロナウイルス感染症予防対策に大きく寄与することが期待できる。